

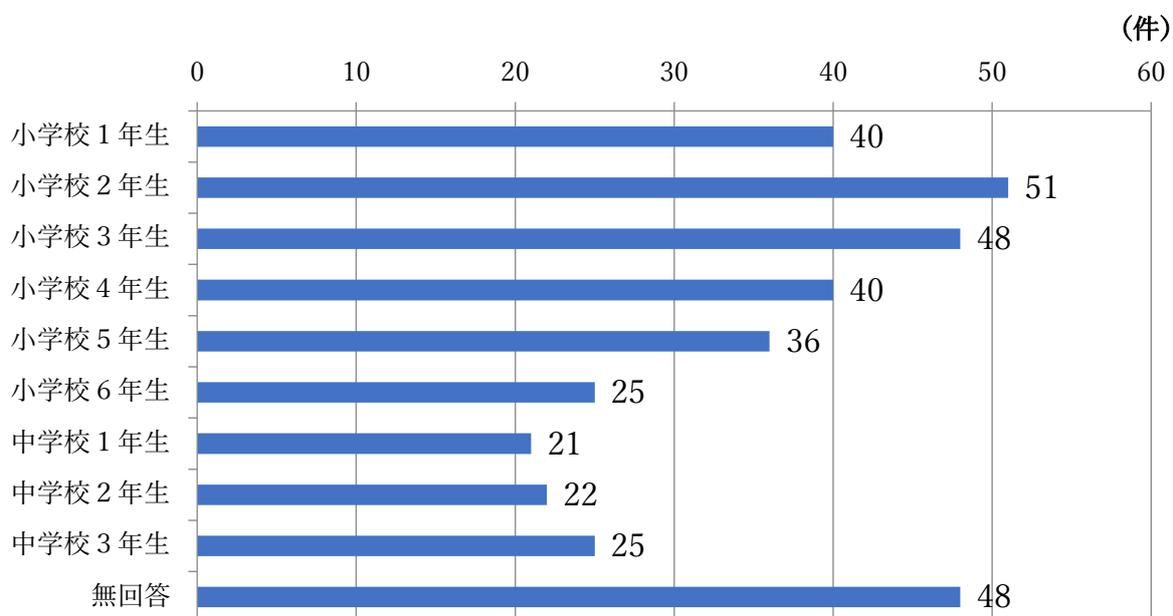
特別支援学級等に関するアンケート調査集計結果（速報）

◆回答数及び回答率

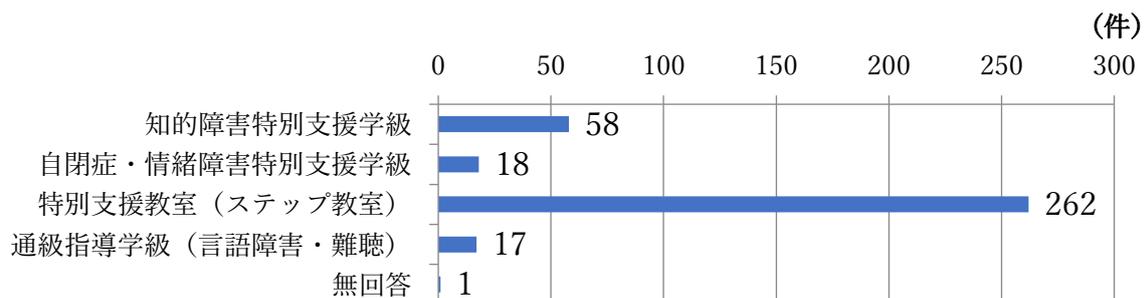
・回答数：356／1047

・回答率：34.0%

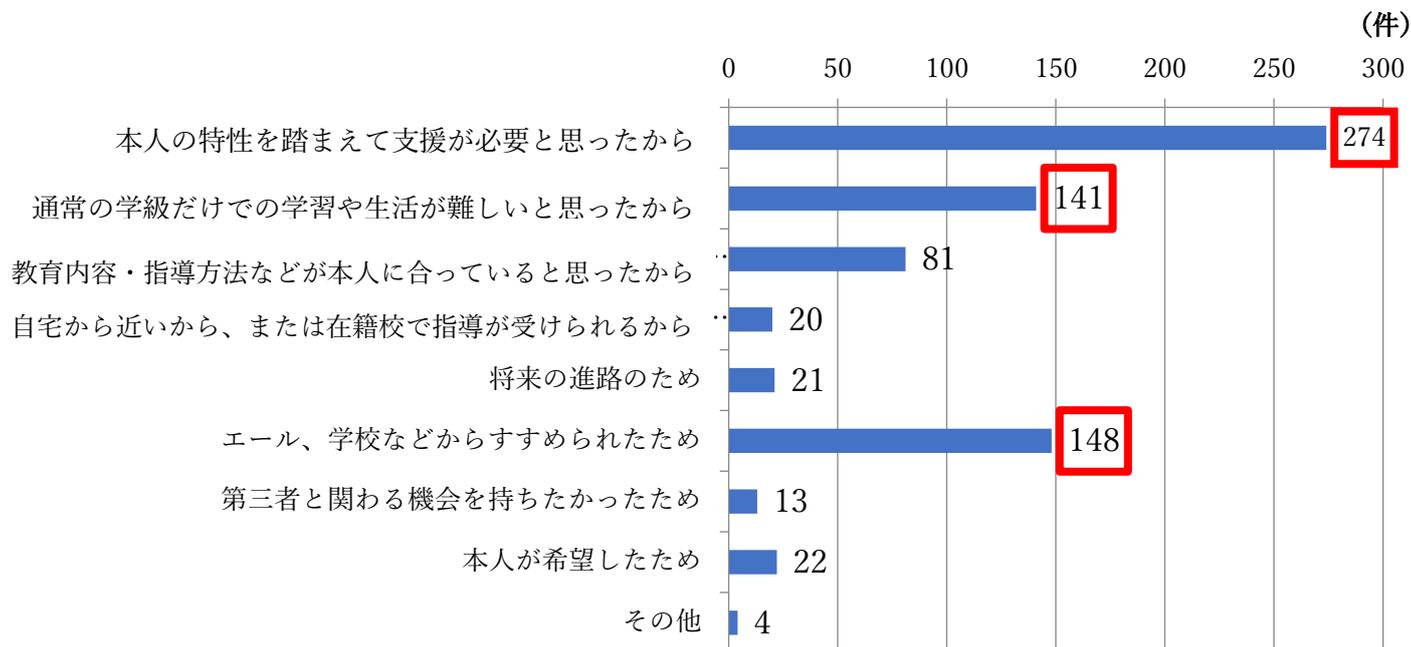
1 現在のお子さまの学年をお答えください。



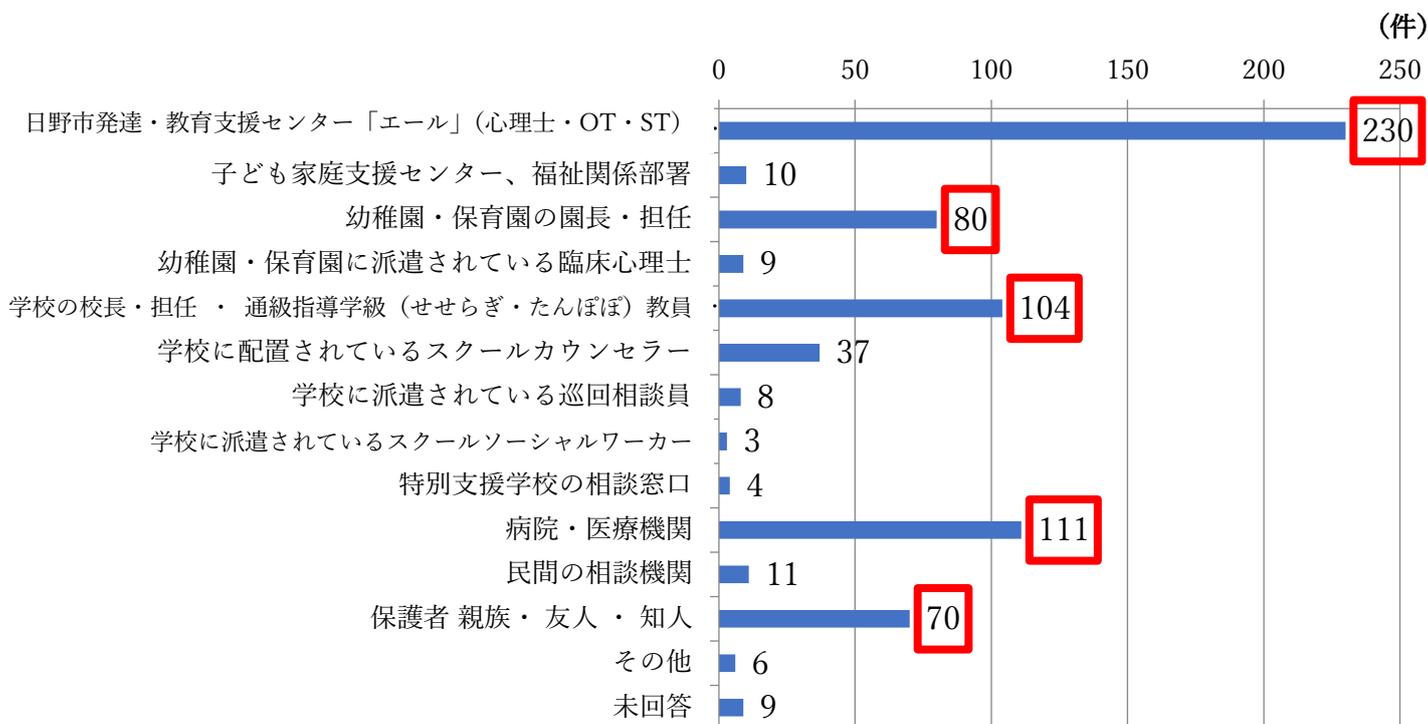
2 現在お子さまはどの特別支援学級等に在籍していますか。



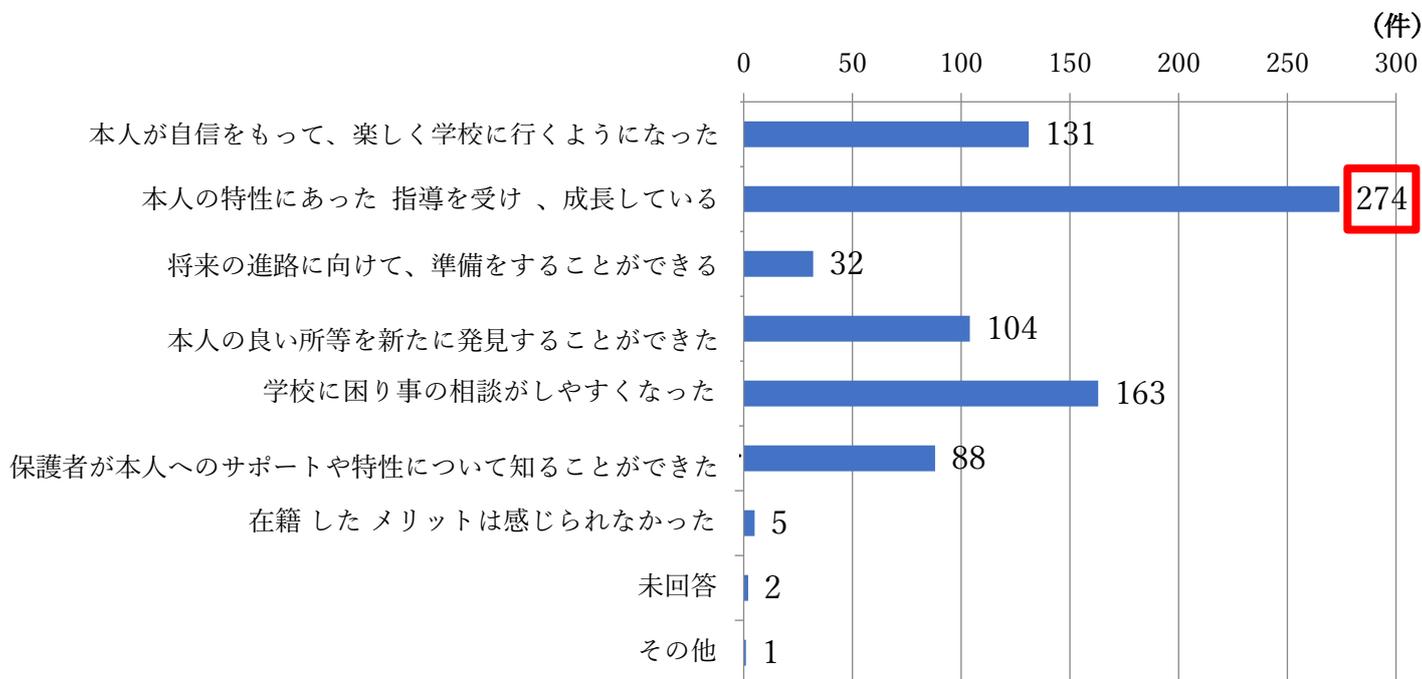
3 現在お子さまが在籍する特別支援学級等を選んだ理由について、お答えください。(複数回答可)



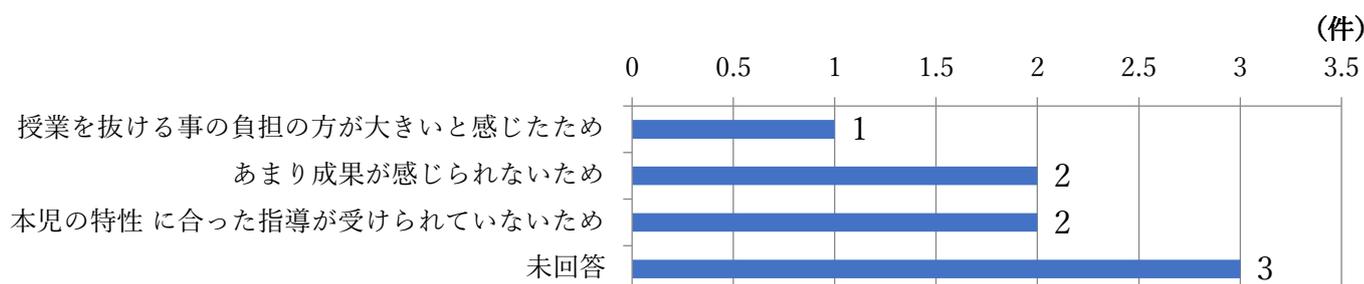
4 現在在籍する特別支援学級等を選ぶ際、就学相談員以外で相談した相手、機関等について、お答えください。(複数回答可)



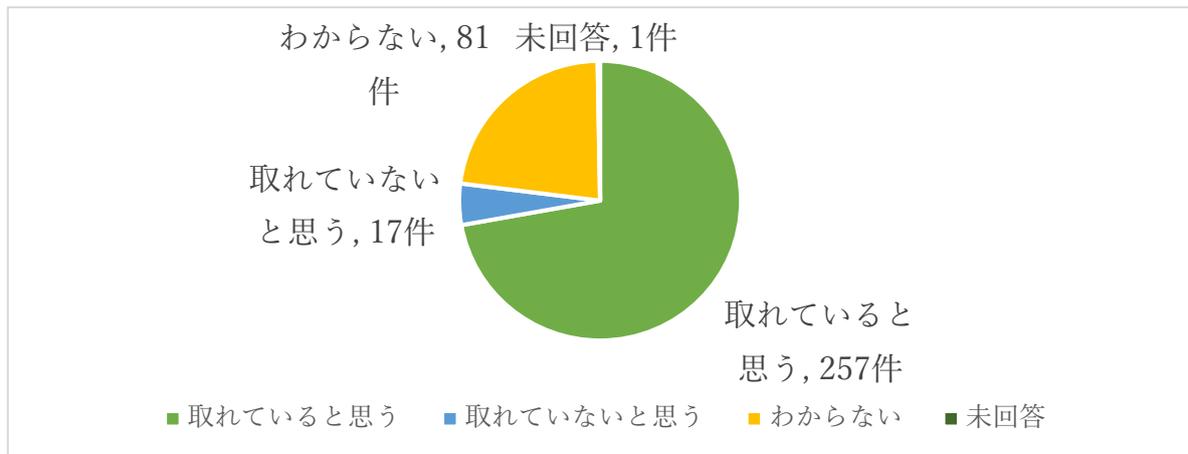
5 お子さまが特別支援学級等に在籍していることで、良かったと感じていることをお答えください。(複数回答可)



5-1 5で⑦「在籍したことのメリットは感じられなかった。」と回答された方にお伺いします。メリットを感じられなかった理由をお答えください。



6 特別支援学級等と通常の学級との連携は取れていると思いますか。

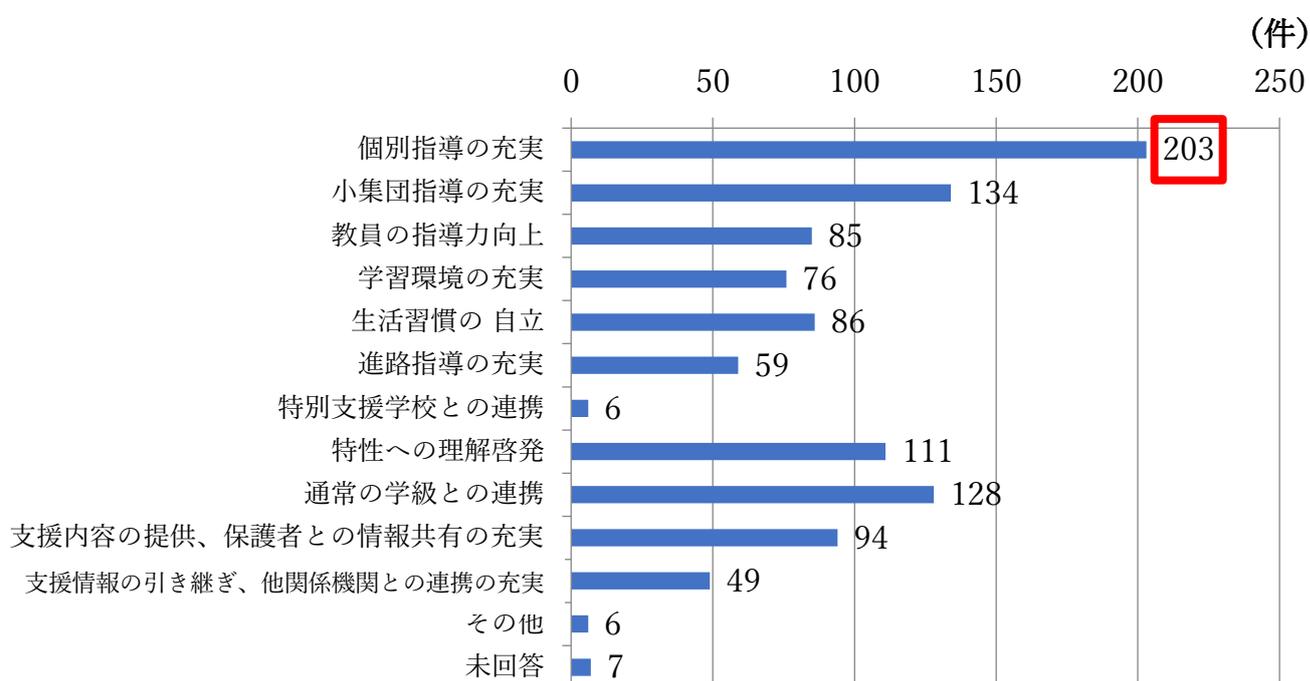


6—1 6で②「連携が取れていないと思う。」と回答された方にお伺いします。連携が取れていないと感じたのはどのような時ですか。

※複数の方からいただいた意見を要約して掲載します。

- ・通常学級教員の、特別新教育に対する興味、知識が不足しており、指導力に差があるため。
- ・教員同士の情報共有が不十分であるため。
- ・そもそも交流が行われていないため。(特にコロナ禍以降)
- ・通常学級の児童からからかわれたことがあるため。

7 特別支援学級等に期待することをお答えください。(複数回答可)



8 小中学校の授業における「一人一台の学習者用端末(タブレット PC)」の利用について、どのようなことを期待しますか。

※複数の方からいただいた意見を要約して掲載します。

- ・PC が正しく使えるようになること。(ローマ字の入力ができるようになる、インターネットを使用する際のルールを身につける、情報収集、プログラミング、ブラインドタッチ等)
- ・自宅から参加可能なオンライン授業の実施。コロナ禍だけでなく災害の際などにも役立つのでは。
- ・教科書やドリルをタブレット PC に置き換えて、勉強道具が軽くなること。
- ・特定の授業のみ使用するのではなく、普段の授業内でノートとしてタブレット PC を使用する。
- ・筆記が困難なため、タブレット PC を使用した板書やテストの回答が可能になってほしい。板書や時間割の写

真を撮るなど。タッチペンがあると便利。

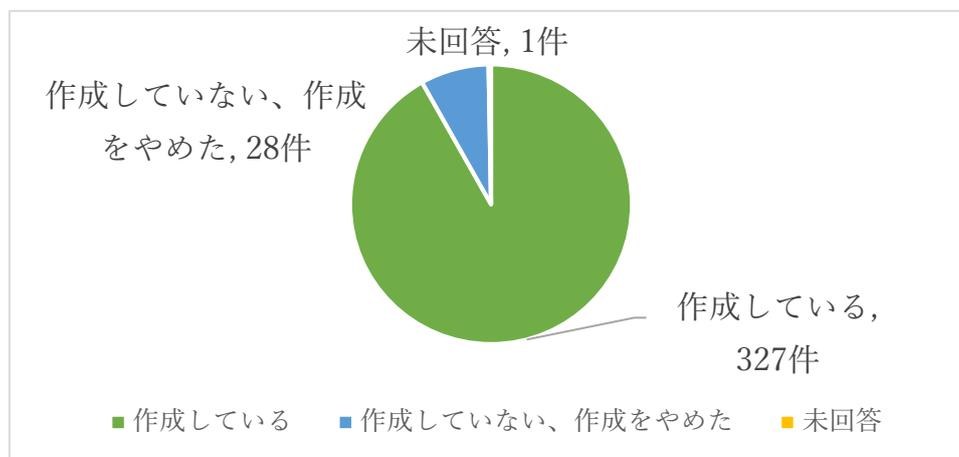
・音読の際に読んでいる部分の文字の色が変わる、教科書の文字を拡大できる等。読み上げ機能があるとよい。

・聞き取る力が弱いため、文字や絵を表示して理解が深まること。

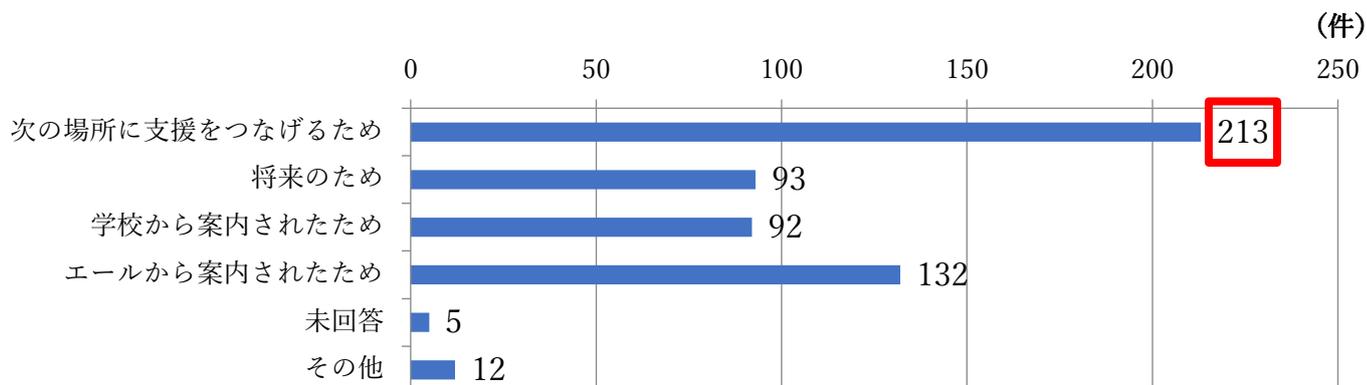
・学校、生徒、保護者とのコミュニケーションの充実。

9 「かしのきシート」について

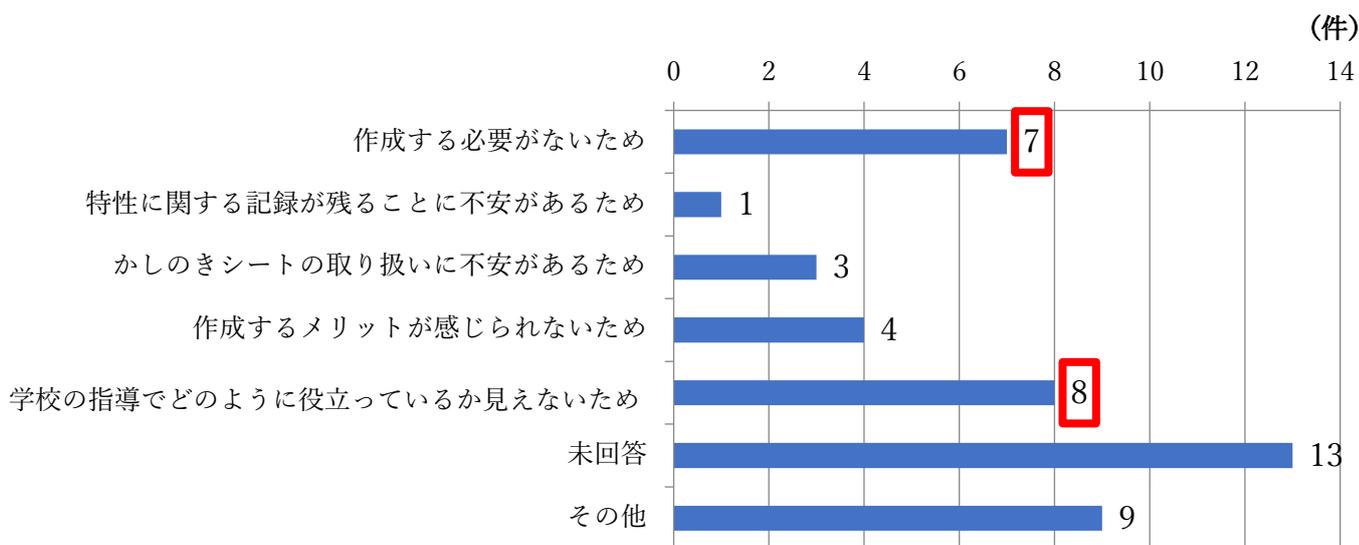
エールでは、0歳から18歳までの発達面、行動面において支援を必要とするお子さまを中心に、切れ目なく支援の経過を記録していく「かしのきシート」（個別の支援計画）の作成に取り組んでいます。「かしのきシート」は作成していますか。



9-1 9で①「作成している」と回答された方にお伺いします。作成している理由をお答えください。



9-2 9で②「作成していない、作成をやめた」と回答された方にお伺いします。作成していない、または作成をやめた理由をお答えください。

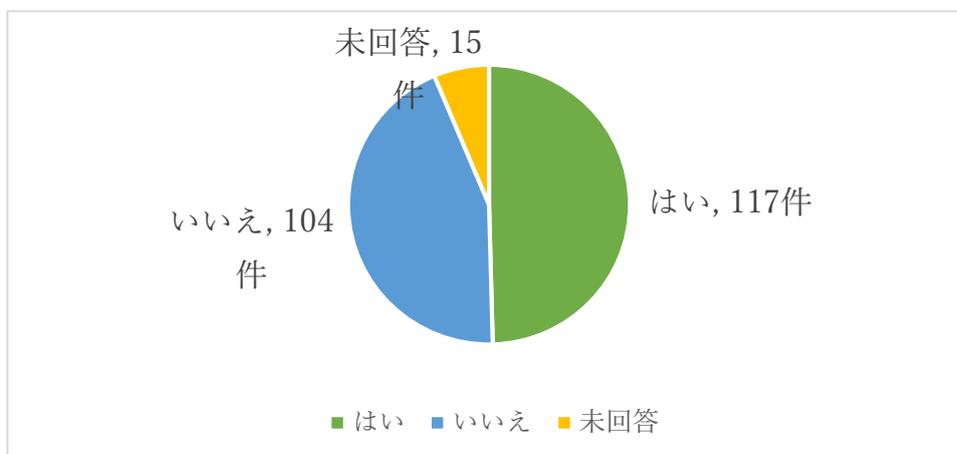


10 「かしのきシート」の引継ぎについて

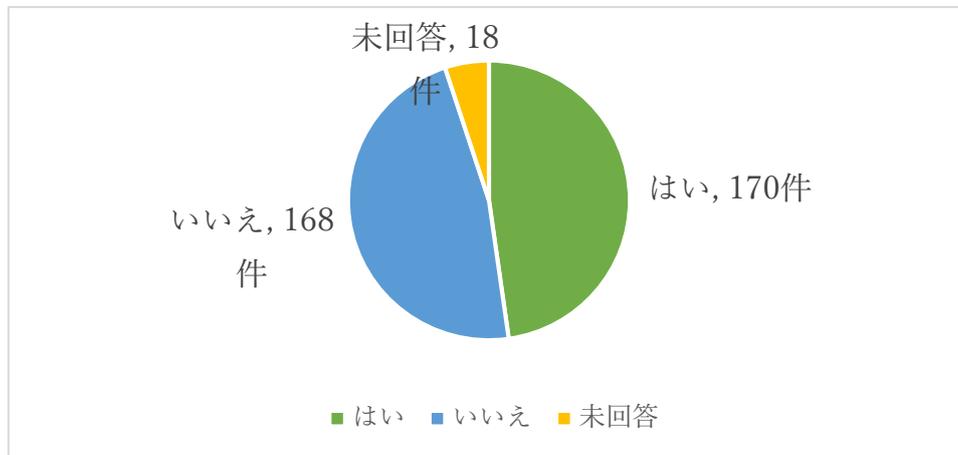
在籍する小中学校の他に、希望すれば放課後等デイサービス・学童・わかば教室等へも引き継ぐことが可能となっていますが、ご存じでしたか。



10—1 10で②「いいえ」と回答された方にお伺いします。かしのきシートの引継ぎを希望しますか。



11 かのきシートによる関係機関の連携についてお伺いします。かのきシートを連携が取れていると感じますか。



11-1 11で①「はい」と回答された方にお伺いします。どんな時に連携ができていたと感じましたか。

※複数の方からいただいた意見を要約して掲載します。

- ・新しい環境に移った際、一から特性について説明する必要がない。
- ・面談では、限られた時間の中で効率よく相談するのに役立った。
- ・保護者も常に参照可能にしてほしい。

11-2 11で②「いいえ」と回答された方にお伺いします。連携が取れていないと感じたのはどんな時ですか。

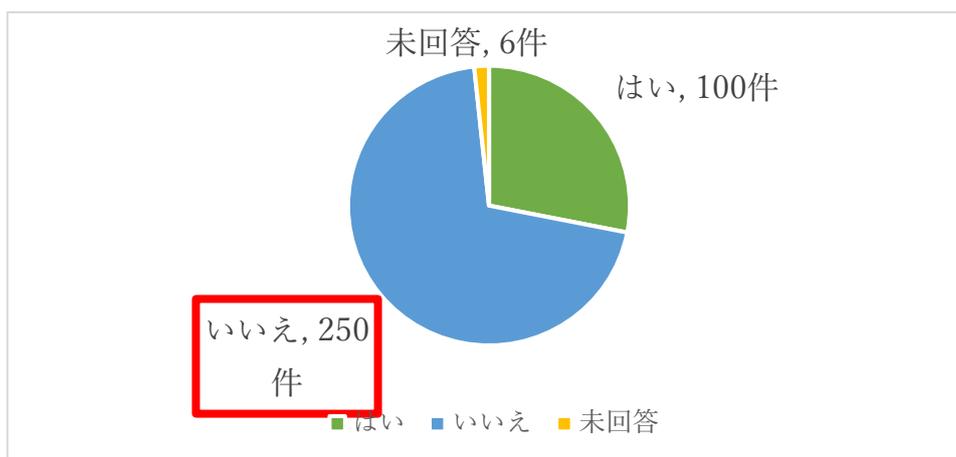
※複数の方からいただいた意見を要約して掲載します。

- ・かのきシートに関して担任と話したことがないため。
- ・かのきシートに記載されている内容を何度も聞かれるため。読んでいないのではないか。

12 合理的配慮について

合理的配慮とは、障害のある人の権利や利益を侵害することとならないよう、個々の状況に応じて解決するための調整を行うことです。

学校生活で児童・生徒に必要と考えられる配慮を受けられなかった、または配慮は受けられたが、周囲の理解が十分ではないと感じられた経験はありますか。



12-1 12で①「はい」と回答された方にお伺いします。どのような時に配慮が不十分であると感じましたか。

またその際どのような配慮が必要でしたか。

※いただいた意見から抜粋しています。

- ・通級を利用していた際、通級でのサポートを期待したが、やみくもに特別支援学級への転籍を促されたため。
- ・タブレットPCでノートを取る、定期テストを受けることができないため。
- ・本人の特性について伝えていても、適切な対応を取ってもらえないことが多い。(努力不足といわれる、授業中立たされる等)
- ・担当医から字を読み上げる特定のアプリの導入を提案されたが、ステップ教室からは「日野市で使っている学校はどこにもない」といわれたため。

12-2 12で②「いいえ」と回答された方にお伺いします。配慮の中で、より良いと感じたものをお答えください。

※いただいた意見から抜粋しています。

・音過敏で受けられない授業があり、また1週間で2.3日しか登校ができないが、登校する日に「本人が受けられる授業」の時間割を学期の初めから組んでいただけたこと。

・担任が事前に板書予定の内容をプリントして本人の手元においてくれること。黒板を見なくてもノートに記入ができるため、本人の負担軽減につながった。

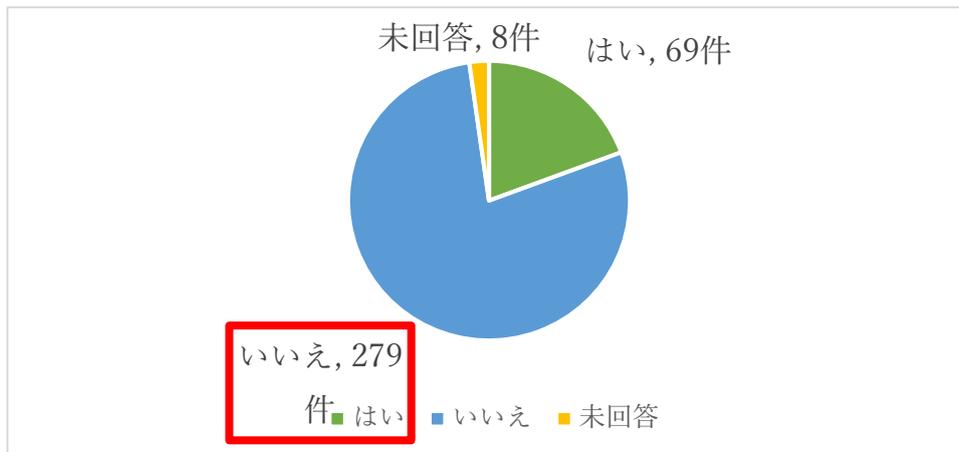
・特別支援教室について、担任がクラスに説明し、クラスみんなで温かく送りだし、迎え入れる雰囲気を作ってくれたこと。

13 小学校自閉症・情緒障害学級について

日野市では、令和5年度より東光寺小学校へ自閉症・情緒障害学級を開設します。自閉症・情緒障害学級は、知的な遅れを伴わず、自閉症などの発達障害があるお子さまを対象としており、教育課程は通常学級のものと同様ですが、より少人数で特性に応じた支援を行っている学級です。自閉症・情緒障害学級に期待しますか。



14 日野市において、保護者同士の情報共有、交流ができる場所は充実していると思いますか。



15 今後保護者同士の情報共有、交流の場を設置する場合、どのような場所が必要だと思いますか。

※複数の方からいただいた意見を要約して掲載します。

○対象者

- ・困りごとの内容がより近い人同士
- ・学年、在籍級が近い方同士
- ・特別支援利用中の保護者と、通常の学級のみ保護者

○場所

- ・小・中学校（保護者会後の教室など）
- ・オンライン（zoom 等）・SNS で開催
- ・児童館、地区センター
- ・日野市発達・教育支援センター「エール」
- ・イオンモール、スーパー、公園等と隣接した場所

○回数・時期等

- ・月 1 回～数カ月に 1 回
- ・土日または平日夕方～夜
- ・各学期終了後
- ・小・中学校入学前

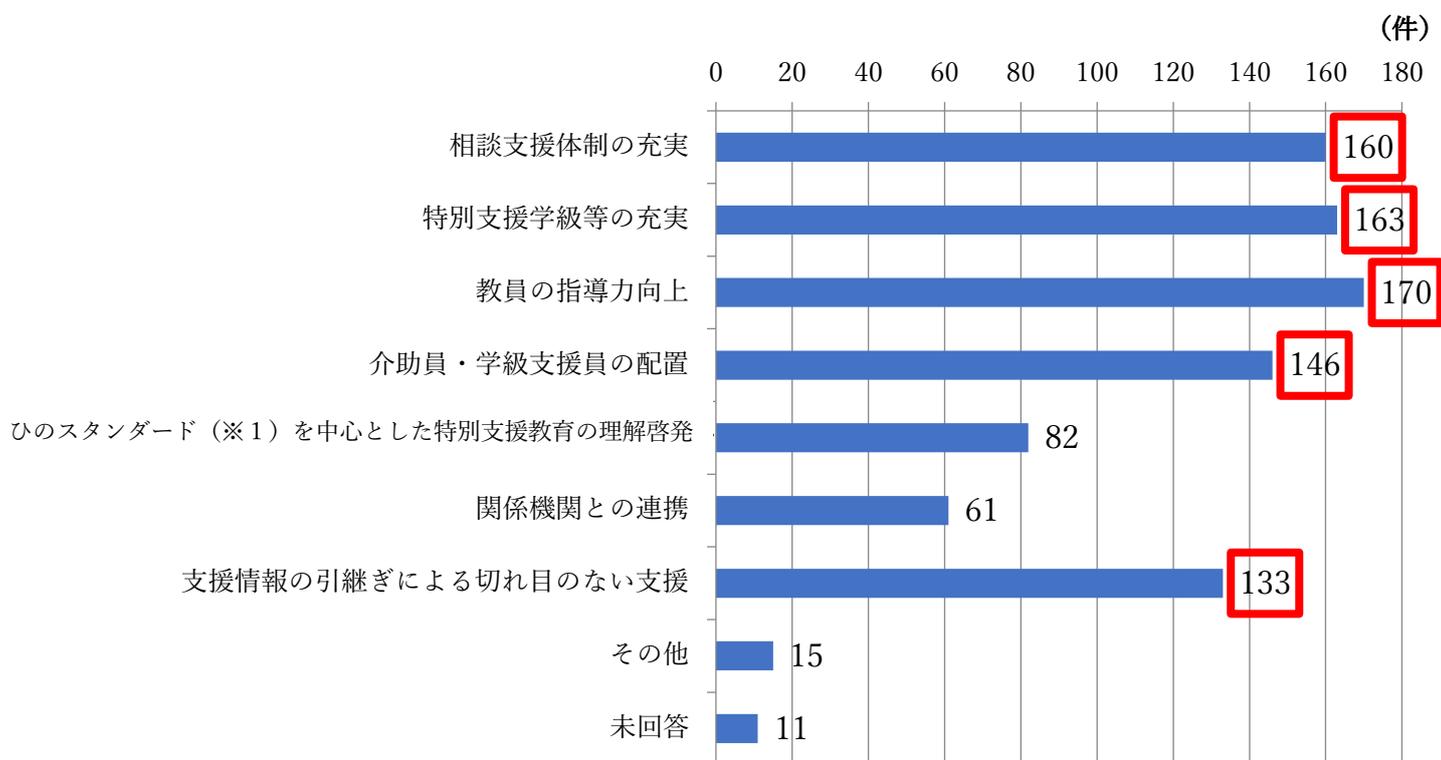
○専門家の有無

- ・発達障害や小児専門医、専門家
- ・本人が発達障害で講演をされている方

○その他

- ・落ち着きのない子や兄弟がいる親は、ほかの親とゆっくり話すことが難しいため孤立しがち。
- ・カフェや赤ちゃん広場のように気軽に集まり、その場で子どもを遊ばせながら保護者同士で話せる場所。
- ・学校で行われる場合、学校や小中学校の垣根を越えて交流できるとよい。
- ・オンライン開催の場合、顔出しせずにチャットで質問し全体に向けて回答する方法であればプライバシーが守られるのでは。
- ・就学・進学・就職等進路について相談したい。
- ・保護者のみでは情報が偏ったり、個人サロンに勧誘されたり等トラブルもあるため、専門家や市職員が入ってほしい。
- ・交流は持ちたくない。

16 特別支援教育の推進や充実に向け、日野市教育委員会に期待することをお答えください。(複数回答可)



17 市の特別支援教育や発達・教育支援センター「エール」などの取り組みについて、ご意見・ご感想などございましたら、ご自由にお書きください。

※複数の方からいただいた意見を要約して掲載します。

- ・教員の負担軽減のため、教員、学級支援員、サポーター等を増員してほしい。
- ・発達・教育支援センターの予約が取りにくい。早くても1カ月後のためもう少し短縮してほしい。
- ・発達・教育支援センターの情報発信を増やしてほしい。
- ・特別支援教室の指導期間を1.2年で区切らずに支援を受け続けられるようにしてほしい。
- ・特別支援教室の利用で抜けた授業のフォローを行ってほしい。
- ・特別支援学級設置校を増やしてほしい。